

令和7年度
全国高等学校体育連盟
定時制通信制部
柔道専門部

全国代表者会議

日時
場所

令和8年1月31日(土) 16時45分
都立蔵前工科高等学校

令和7年度 全校高体連定時制通信制部 柔道専門部

全国代表者会議 次第

1. 報告事項

- ① 57回大会への準備計画表
- ② 柔道専門部役員名簿
- ③ 常任ブロック委員ローテーション表

2. 協議事項

- 第1号議案 令和7年度 専門部経常費中間決算書（中間報告）
- 第2号議案 令和8年度 専門部経常費予算書（案）
- 第3号議案 第57回柔道大会開催要項（案）

3. 連絡事項

- ① 第57回大会開催に向けての段取り。別紙参照
- ② 試合は、男女同時進行で進め、団体戦、個人戦の順で試合を進める。従って、開会式、閉会式も従来の男女合同の形に戻す。
- ③ 8.15大会前日練習会場について、6階道場並びに7階大道場で予約完了。
- ④ 前日の計量時間は、【開催要項 13.(7)】参照。
- ⑤ 前日の午後の待機場所として、空調管理の下、8階観覧席を開放する。
- ⑥ 入れ墨の件、別紙参照

4. 確認事項

- ① 参加費は柔道大会指定口座に大会前に必ず納入。未納の場合は出場不可。
- ② 高体連の規約通り、宿泊手続きは大会事務局を必ず通す。
- ③ 宿泊手配業者は、今年度同様、京王観光に依頼する。
- ④ 参加者要項に則って大会に臨み、トラブルの無いように留意する。
- ⑤ 連絡責任者が交代する場合、旧連絡責任者が新規連絡責任者のアドレスをCCに入れたメールを事務局まで送信をする。
CCに入れることで、メールアドレスの登録作業にミスが低減できる為。
- ⑥ 参加申込書の提出前に、入力ミスが無いよう入念なチェックをする。
- ⑦ 参加申込書の申込締切6.26金曜日の厳守。
- ⑧ 柔道専門部規約

5. その他

- ① 例年の8月第1週土日から第3週土日開催になった理由について、
第一週土日に東京都教育委員会主催の都立工科高校の生徒募集対策に関わる大きなイベントは組まれ、運営メンバーが集まらないため、やむを得ず、開催時期の変更に至った。
- ② 参考資料
「入れ墨」の件、「講道館道場使用時の注意事項」、「56回大会アンケート結果」

第56回全国高等学校定時制通信制柔道大会に向けての準備計画表**2026(令和8)年1～2月**

- ① 事務局会議
- ② 代表委員会用資料作成
- ③ 全国柔道代表者委員会

3～5月

- ① 事務局会議
- ② 大会要項等作成、印刷
- ③ 公文書諸用紙作成、印刷
- ④ 各都道府県責任者へ文書発送

6～7月

- ① 事務局会議
- ② 実行委員会 会議
- ③ 補助金決定、実行予算作成
- ④ 大会準備
- ⑤ 各都道府県別に選手選考
- ⑥ 6.26(金) 大会参加、宿泊関係申し込み書類等の〆切
- ⑦ 6.28(日) 大会プログラム編集 選手名簿作成
- ⑧ 7月第1週 都道府県専門部による選手名簿の確認(メール送信)
- ⑨ 7.4(土) 大会プログラム編集 抽選作業
- ⑩ 7月第2週 都道府県専門部による抽選結果の最終確認(メール送信)
- ⑪ 7月初旬から下旬 大会プログラム原稿校正
- ⑫ 7.21(火) 最終原稿校了⇒印刷所へ入稿

8月

- ① 大会準備 事務局・実行委員会
- ② 8.15、8.16、大会開催
- ③ 関係諸機関、報道への結果報告発送
- ④ 大会報告書作成
- ⑤ 大会会計整理

9～10月

- ① 大会事務の諸整理
- ② 大会補助金申請(JKA)

11～12月

- ① 事務局会議
- ② 2027(令和8)年度 第57回大会準備(令和9年8月開催)

2026（令和8）年度（公財）全国高等学校体育連盟定時制通信制部

柔道専門部役員 名簿（予定）

委員長	平 田 誠 一	都立一橋高等学校	学校長
副委員長	内 海 秀 一	都立東村山高等学校	学校長
副委員長	穂 積 振 司	都立小台橋高等学校	学校長
副委員長	日 高 宏 由	都立町田高等学校	副校長
副委員長	染 谷 英 男	都立足立高等学校	副校長
副委員長	秋 山 親	都立稔ヶ丘高等学校	副校長
顧問	磯 村 元 信	全日本柔道連盟 重大事故総合対策委員会	前 委員長
事務局長	小 池 勝 男	都立小金井工科高等学校	
副事務局長	星 野 佑 介	都立小金井工科高等学校	
会計	竹内乾太郎	都立練馬工科高等学校	
会計	潮 田 正 彦	都立北豊島工科高等学校	
監査	宮 川 信 明	都立芝商業高等学校	

全国各地ブロック代表都道府県 輪番表（本部事務局資料に準じる）

報告事項 3

ブロック	北海道	東北	関東	東京	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州
令和7年度	北海道	福島県	栃木県	東京都	福井県 長野県	三重県	大阪府 兵庫県	山口県	高知県	佐賀県
令和8年度	北海道	福島県	栃木県	東京都	長野県 新潟県	愛知県	兵庫県 京都府	山口県	高知県	佐賀県
令和9年度	北海道	青森県	群馬県	東京都	新潟県 富山県	静岡県	京都府 滋賀県	鳥取県	徳島県	長崎県
令和10年度	北海道	青森県	群馬県	東京都	富山県 石川県	岐阜県	滋賀県 奈良県	鳥取県	徳島県	長崎県
令和11年度	北海道	岩手県	埼玉県	東京都	石川県 福井県	三重県	奈良県 和歌山県	島根県	愛媛県	熊本県
令和12年度	北海道	岩手県	埼玉県	東京都	福井県 長野県	愛知県	和歌山県 大阪府	島根県	愛媛県	熊本県
令和13年度	北海道	宮城県	千葉県	東京都	長野県 新潟県	静岡県	大阪府 兵庫県	岡山県	香川県	大分県
令和14年度	北海道	宮城県	千葉県	東京都	新潟県 富山県	岐阜県	兵庫県 京都府	岡山県	香川県	大分県
令和15年度	北海道	秋田県	神奈川県	東京都	富山県 石川県	三重県	京都府 滋賀県	広島県	高知県	宮崎県
令和16年度	北海道	秋田県	神奈川県	東京都	石川県 福井県	愛知県	滋賀県 奈良県	広島県	高知県	宮崎県
令和元年	北海道	山形県	神奈川県	東京都	石川県 長野県	愛知県 静岡県	大阪府 兵庫県	島根県	徳島県	鹿児島県
令和2年度	北海道	山形県	神奈川県	東京都	長野県 福井県	愛知県 岐阜県	兵庫県 京都府	島根県	徳島県	鹿児島県
令和3年度	北海道	福島県	山梨県	東京都	福井県 新潟県	愛知県 三重県	京都府 滋賀県	岡山県	愛媛県	沖縄県
令和4年度	北海道	福島県	山梨県	東京都	新潟県 富山県	愛知県	滋賀県 奈良県	岡山県	愛媛県	沖縄県
令和5年度	北海道	青森県	茨城県	東京都	富山県 石川県	愛知県 静岡県	奈良県 和歌山県	広島県	香川県	福岡県
令和6年度	北海道	青森県	茨城県	東京都	石川県 福井県	愛知県 岐阜県	和歌山県 大阪府	広島県	香川県	福岡県
輪番基準	毎年	12年に2回	14年に2回	毎年	5年に2回	4年に1回	6年に2回	10年に2回	8年に2回	16年に2回

令和7年度 経常費収支決算書
定時制通信制部柔道専門部

自 令和7年4月1日 至 令和7年11月30日

単位:円

科 目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
①事業収入	0	0	0	
事業収入		0	0	
②補助金等収入	390,000	375,000	15,000	
補助金収入	190,000	175,000	15,000	
分担金収入	200,000	200,000	0	
③寄付金等収入	0	0	0	
寄付金収入		0	0	
④雑収入	0	110,000	▲110,000	
受取利息収入		0	0	
雑収入		110,000	▲110,000	
⑤他会計からの繰入金収入	0	0	0	
他会計からの繰入金収入		0	0	
⑥未収入金	0	0	0	
未収入金		0	0	
事業活動収入 計	390,000	485,000	▲95,000	
2 事業活動支出				
①事業費支出	0	110,000	▲110,000	
事)委員会費	(0)	(0)	(0)	
委員会費 全国		0	0	
委員会費 常任		0	0	
委員会費 各種		0	0	
事)海外遠征費		0	0	
事)強化合宿費		0	0	
事)負担金		0	0	
事)運営補助金		0	0	
事)通信運搬費		0	0	
事)広報費		0	0	
事)印刷製本費		0	0	
事)保険料		0	0	
事)諸謝金		0	0	
事)雑支出		110,000	▲110,000	
②管理費支出	585,000	263,948	321,052	
会議費支出	60,000	0	60,000	
旅費交通費支出	95,000	63,970	31,030	
通信運搬費支出	120,000	39,840	80,160	
消耗品支出	100,000	0	100,000	
印刷製本費支出		0	0	
渉外費支出	30,000	6,608	23,392	
事務局運営費支出	170,000	153,530	16,470	
雑支出	10,000	0	10,000	
③他会計への繰入	0	169,004	▲169,004	
他会計への繰入金支出	0	169,004	▲169,004	大会費へ支出
④未払金	0	0	0	
未払金		0	0	
事業活動支出 計	585,000	542,952	42,048	
事業活動収支差額	-195,000	-57,952	▲137,048	
II 予備費支出		0	0	
当期収支差額	-195,000	-57,952	▲137,048	
前年度繰越金	200,000	200,000	0	
次期繰越収支差額	5,000	142,048	▲137,048	

令和8年1月31日 上記の通り報告いたします。

部 長	穂積 振司
事務局長	小池 勝男
会 計	潮田 正彦

令和 年 月 日 監査の結果適正であることを認めます。

会計監査	宮川 信明
------	-------

令和8年度 経常費収支予算書
定時制通信制部柔道専門部

自 令和8年4月1日 至 令和9年3月31日

単位:円

科 目	予算額	前年度予算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
①事業収入	0	0	0	
事業収入	0	0	0	
②補助金等収入	375,000	390,000	▲15,000	
補助金収入	175,000	190,000	▲15,000	
分担金収入	200,000	200,000	0	
③寄付金等収入	0	0	0	
寄付金収入	0	0	0	
④雑収入	0	0	0	
受取利息収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
⑤他会計からの繰入金収入	0	0	0	
他会計からの繰入金収入	0	0	0	
⑥未収入金	0	0	0	
未収入金	0	0	0	
事業活動収入 計	375,000	390,000	▲15,000	
2 事業活動支出				
①事業費支出	0	0	0	
事)委員会費	(0)	(0)	(0)	
委員会費 全国	0	0	0	
委員会費 常任	0	0	0	
委員会費 各種	0	0	0	
事)海外遠征費	0	0	0	
事)強化合宿費	0	0	0	
事)負担金	0	0	0	
事)運営補助金	0	0	0	
事)通信運搬費	0	0	0	
事)広報費	0	0	0	
事)印刷製本費	0	0	0	
事)保険料	0	0	0	
事)諸謝金	0	0	0	
事)雑支出	0	0	0	
②管理費支出	525,000	585,000	▲60,000	
会議費支出	60,000	60,000	0	
旅費交通費支出	95,000	95,000	0	
通信運搬費支出	90,000	120,000	▲30,000	
消耗品支出	50,000	100,000	▲50,000	
印刷製本費支出			0	
渉外費支出	30,000	30,000	0	
事務局運営費支出	190,000	170,000	20,000	
雑支出	10,000	10,000	0	
③他会計への繰入金支出	0	0	0	
他会計への繰入金支出		0	0	
④未払金	0	0	0	
未払金		0	0	
事業活動支出 計	525,000	585,000	▲60,000	
事業活動収支差額	-150,000	-195,000	45,000	
II 予備費支出		0	0	
当期収支差額	-150,000	-195,000	45,000	
前年度繰越金	150,000	200,000	▲50,000	
次期繰越収支差額	0	5,000	▲5,000	

令和 年 月 日上記の通り報告いたします。

部 長	穂積 振司
事務局長	小池 勝男
会 計	潮田 正彦

令和 年 月 日監査の結果適正であることを認めます。

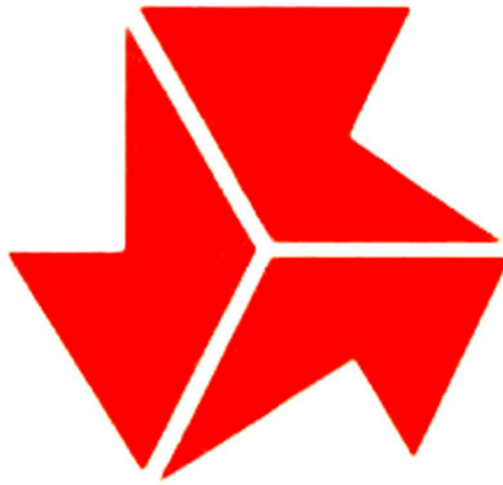
会計監査	宮川 信明
------	-------

令和8年度

全国高等学校定時制通信制体育大会

第57回柔道大会

開催要項



期日 令和8年8月16日(日)

- 主催 (公財)全国高等学校定時制通信制教育振興会
(公財)全国高等学校体育連盟 (公財)全日本柔道連盟
東京都教育委員会
- 後援 スポーツ庁 厚生労働省 (公財)日本体育協会 NHK
(公財)講道館 (公財)日本武道館 日刊スポーツ新聞社
(公財)東京都体育協会 (公財)石澤奨学会 全国定時制通信制高等学校長会
全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会
- 主管 (公財)全国高等学校体育連盟定時制通信制部柔道専門部
東京都高等学校体育連盟 (公財)東京都柔道連盟

1. 期 日 令和 8 年 8 月 16 日(日) 午前9時 30 分より
2. 会 場 講道館 〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-30
電話 03(3811)7152 代表
3. 試合規定
 - (1) 国際柔道連盟試合審判規程(2022-24)並びに、(公財)全国高等学校体育連盟定時制通信制部柔道専門部申し合せ事項による。
 - (2) 「優勢勝ち」の判定基準
 - A) 個人試合・団体試合ともに「有効」又は「僅差」以上とする。「僅差」とは、両者にスコアが無い、あるいはスコアが同等であるが、「指導 2-0」の場合を指す。
 - B) 個人試合では、規定試合時間が終了した時点で、両者にスコアが無い場合、又はスコアが同等である場合、指導の差が1つ以下であれば、延長戦(ゴールデンスコア)によって勝敗を決する。
 - C) B)の延長戦において、両者に指導の差がつく宣告を行った時点で試合を終了し、指導の数が多い選手が敗者となる。すなわち、指導差1つで僅差となる。
 - (3) 団体試合はトーナメント戦で行い、勝敗の決定は次による。
 - A) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - B) A)で同等の場合は、「一本」勝ちの多いチームを勝ちとする。ただし、一本勝ちと反則勝ちとは同等とする。
 - C) B)で同等の場合は、「技あり」による勝ちの多いチームを勝ちとする。
 - D) C)で同等の場合は、「有効」による勝ちの多いチームを勝ちとする。
 - E) D)で同等の場合は、代表戦を行う。
 - F) D)の代表戦はその対戦に出場した選手の中から任意に選出して行う。
 - G) D)の代表戦における優勢勝ちの判定基準は「有効」または「僅差」以上とする。
ただし、本戦において勝敗が決しない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)を時間無制限で行う。
 - H) G)の延長戦は、「有効」以上の得点があった時点、または、「指導」の差が出た時点で試合終了とする。
 - I) H)の延長戦(本戦においても)で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。
 - (4) 試合時間は、団体試合、個人試合ともすべて3分間とする。ただし、延長戦(ゴールデンスコア)は、時間制限を設けない。
4. 競技方法
 - (A) 団体試合(男子・女子)
 - ① 今年度ベスト8以上の成績を収めた都道府県チームを次年度シード権の対象とする。
 - (B) 個人試合
 - ① 出場選手は、男子は各階級1名、女子は各階級 3 名以内とし、補欠選手も同様とする。
 - ② 男子の体重区分は、次の4階級とする。
65 kg級(65kg 以下)、75 kg級(65kg 超から 75kg 以下)、90 kg級(75kg 超から 90kg 以下)、90kg超級(90kg 超以上)。
 - ③ 女子の体重区分は、次の3階級とする。
52kg級(52kg以下)、63kg級(52kg 超から 63kg 以下)、63kg超級(63kg 超以上)。
 - ④ 選手については、団体試合と重複してもかまわない。

- ⑤ 試合は、トーナメント戦とする。
- ⑥ 今年度ベスト8以上の成績を収めた都道府県選手を次年度シード権の対象とする。
- (C) 感染症の拡大状況次第で競技種目の見直し、もしくは開催中止の判断を迫られる場合がある。

5. 参加資格

- (1) 全国高等学校定時制通信制体育大会開催基準要項 13の(1)から(11)の規定を満たしていること。
- (2) 参加選手はあらかじめ健康診断を受け、学校長の承認を必要とする。
- (3) 以下の生徒の参加については認めない。
 - ① 聴講生
 - ② 当該校において、卒業を目的としない生徒
 - ③ 意図的な留年を繰り返し、競技種目を越えて連続で出場する生徒
 - ④ 通信制課程に所属し、高校生としての教育活動が著しく損なわれている者
 - ⑤ 別途定める「全国高等学校定時制通信制体育大会における個人情報及び肖像権に関する取扱い」の承諾を得られない者
 - ⑥ 参加費の未払いな者
 - ⑦ その他、各競技専門部会が定める「定通大会」参加資格及び規定に反する者。及び不良性行や大会運営上支障があると判断され、参加が不適切であると認められた者。
- (4) 以下の条件を満たすこと。
 - ① 当該年度・全日本柔道連盟に登録された生徒。
- (5) 以下の条件に該当する生徒は、原則として参加を認めない。但し②において特別な事情のある場合は、別途事務局で判断する。(H14 年度改訂)
 - ① 当該年度に全国高等学校柔道大会及びその予選(地区大会)の出場者及び出場校。
 - ② 令和 7(2025)年 8 月 4 日から令和 8(2026)年 8 月 15 日までに柔道の各種全国大会(高校生以上を対象とし、都道府県予選のある全国大会)に出場した生徒。
 - ③ 高等学校卒業の資格を有し、在学中に全国高等学校柔道大会、全国高等学校柔道選手権大会へ出場した生徒。(H14 年度改訂)
 - ④ 柔道の段位が、講道館四段以上の生徒。
- (6) 選手および指導者は下記事項を遵守すること。
 - ① 大会前 1 ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
 - ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - ④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
 - ⑤ 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行なうこと。なお、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
 - ⑥ 別途指示する感染症対策を遵守すること。

6. 編 成

- (1) 各都道府県は、団体試合(男子・女子)においては、1 チームとし、開催地および男子前年度ベスト8、女子前年度ベスト4の都道府県は、2 チーム選出することができる。また、男子1チームは、監督1名、選手5名、補欠2名以内とし、女子1チームは監督1名、選手3名、補欠2名以内とする。ただし、女子団体戦の選手が2 名の場合は、中堅、大将と後詰めにして申し込む。
- (2) 各都道府県は、個人試合において、男子の部は、監督1 名、選手各階級1 名、補欠各階級1 名以内とする。開催地は、選手各階級2 名、補欠各階級2 名以内を選出する事ができる。
女子の部は、監督1 名とし、各階級3 名以内を選出可とする。
- (3) 男子個人戦において、前年度ベスト4に入賞している階級については各都道府県2 名まで選出できる。
- (4) 各部門の監督は、兼任することができるが、監督は校長の認める指導者とする。
- (5) 男女別の参加選手が1名のみの場合など必要に応じ、コーチ1 名をおくことできる。ただし、大会参加申込書の所定の欄に記載すること。
- (6) 出場選手は、必ず引率者(校長が認める当該校の職員)によって引率される。引率者は、選手のすべての行動に対して責任を負うものとする。
- (7) 各都道府県予選は、各都道府県に任せるものとする。

7. 表 彰

- (1) 団体試合においては、1 位～3 位には賞状およびメダルを、1 位には優勝旗、公益財団法人全日本柔道連盟杯、文部科学大臣杯ならびに厚生労働大臣杯を授与する。
- (2) 個人試合においては、1 位～3 位には賞状およびメダルを授与する。
- (3) 石沢奨学会より理事長賞を授与する。
- (4) 参加者には、参加賞またはそれに代わるものを贈呈する。

8. 申込方法

- (1) 大会 HP からダウンロードした申込用紙に、必要事項を記入し、各都道府県高等学校体育連盟会長の承認を得て、公印のある申込書を2 部提出する。

9. 申込期間 **令和8年6月26日(金)必着**で書留もしくはレターパックにて郵送のこと

必要事項を入力した大会申込書等のファイルは添付ファイルとして大会事務局のメールアドレスに送る

10. 申込先 **柔道大会事務局** → **開催要項最終頁 枠内 参照**

11. 参加費 団体1 チーム45,000 円、個人1 人(補欠分は不要) 4,500 円を6 月26 日(金)迄に振り込む。

12. 宿 泊

- (1) 宿泊料金 都内ホテル1 泊朝食付(サービス軽朝食付きホテルを含む)

A ランク18,000 円～D ランク13,000 円(消費税込み)。

夕食は上記金額にジェフグルメカード、1,500 円に対応。▶ 詳細は別途案内。

▶ 昼食代は別途1,350 円(消費税込)

昼食料金は昨年の金額
見直しの可能性あり

- (2) 申し込み方法

宿泊手続きは、規定通り、大会事務局を必ず通して進めることが前提です。

※詳細は、2026 年度全国高等学校校定時制通信制大会参加者要項を参照。

13. 振込先 参加費は、郵便局の口座に送金すること。

口座番号 00190-2-30205

(振込用紙の裏に内訳を記入すること)

口座名 全国高等学校定時制通信制柔道大会事務局

※振込用紙のコピーを大会申込書に同封すること。

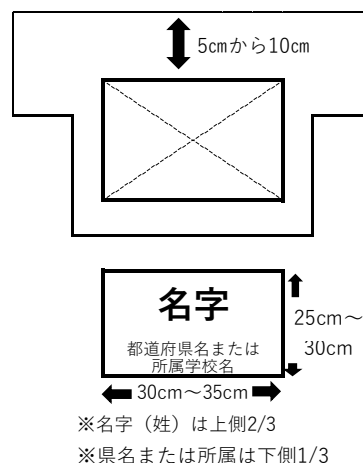
口座に関しては、
変更する予定、
確定次第、後日連絡

14. その他

- (1) 審判会議は、大会当日 8 月 16 日(日)、午前 9 時 00 分より講道館 7 階大道場にて行う。
- (2) 監督会議は、大会前日 8 月 15 日(土)、午後 3 時 45 分より講道館にて行う。
- (3) 前日練習は、講道館内道場とする。8 月 15 日(土)午後 12 時より午後 4 時までとする。練習会場は当日掲示する。
- (4) プログラム編成・組合せは、主催者側で行う。
- (5) 選手の試合による直接の事故については、応急処置を施し、その費用を主催側で負担する。その後の処置については、責任を負わない。尚、選手は保険証(写し可)を持参すること。
- (6) 申込後、参加者に変更が生じた場合は、所定の手続きを大会5日前の 8 月 11 日迄に経たものに限り、団体試合、個人試合ともに受け付ける。ただし、団体試合における選手の順番の変更は、認めない。また、個人試合男子における選手の階級変更は、認めない。
- (7) 個人試合に出場する選手の公式計量は、**8 月 15 日(土)午後 1 時 00 分から午後 2 時 30 分まで**の間に講道館内にて行う。
非公式計量は各更衣室にて午後 12 時 10 分から午後 2 時 20 分までとする。
ただし、特別に事情がある場合のみ、当日開会式直前までに計量をおこなうことができる。その場合、必ず事前に事務局に申し出ること。計量会場は当日掲示する。
- (8) 計量に失格した選手は、試合に出場することができない。
(2 日間にわたって計量を受けることはできない。)
- (9) 計量に不正があった場合は、該当都道府県の出場を、団体試合、個人試合とも禁止する。
- (10) 柔道衣及び帯は、全柔連の認証ラベルが無い柔道衣でも可とする。但し、大きさ等の規格は国際柔道連盟が出している「柔道衣コントロールガイド」の基づいたものであること。
- (11) 各自でゼッケン(苗字、高校名または県名入り)を縫い付けて試合をすること。(詳細は最終頁の図参照)
- (12) 出場選手は、必ず校医の診断を受けること。(承諾書には、校医の捺印は不要)
- (13) 出場選手は必ず引率責任者によって引率され、引率責任者は、選手の行動に対して責任を負うこととする。
- (14) 全柔連の定める公認指導者資格制度は本大会には適用しない。

※追加 ゼッケン詳細

- ① 布地は白地(晒(さらし) 太綾(ふとあや))
- ② サイズは横 30～35cm 縦 25～30cm
- ③ 名字(姓)は上側 2/3 県名は 下側 1/3
- ④ 文字は、男子黒色・女子赤色(太文字)横書きとする
- ⑤ 縫い付けの場所は後ろ襟から 5～10cm 下
- ⑥ 対角線にも強い糸で縫いつけする



第 57 回全国高等学校定時制通信制柔道大会 事務局

東京都立小金井工科高等学校 定時制内

〒184-8581 東京都小金井市本町 6 丁目 8-9

小金井工科高校 電話 042-381-4141 小金井工科高校 FAX 042-381-4169

E-mail tjudojp@gmail.com

全国高等学校体育連盟定時制通信制部 柔道専門部 規約

第1章 総則

- 第1条 名 称 全国高等学校体育連盟定時制通信制部柔道専門部と称する。(以下「本部」と称する。)
- 第2条 目 的 本部は(公財)全国高等学校体育連盟定時制通信制部の規約に従い、全国高等学校定時制通信制における柔道の健全な発達と生徒相互の親睦を図るものである。
- 第3条 組 織 本部は(公財)全国高等学校体育連盟定時制通信制部の規約に基づき、各都道府県高等学校体育連盟定時制通信制部柔道専門部に加盟の高校を持って組織する。
- 第4条 事務局 本部の事務所は委員長または事務局長所在の下記の学校内におく。
〒184-8581 東京都小金井市本町 6-8-9 都立小金井工科高等学校内
- 第5条 事 業 本部は第2条の目的を達成するために次の事業を行う。
1) 全国高等学校体育連盟定時制通信制柔道大会の開催に関する事項の審議並びに執行
2) その他目的達成に必要な事項

第2章 役員

- 第6条 本部に次の役員を置く。
1) 委員長 1名 2) 副委員長 若干名 3) 委員 若干名 4) 事務局長 1名
5) 副事務局長 1名 6) 会計 2名 7) 監事 2名 8) 顧問 若干名
- 第7条 委員長、副委員長は委員の推薦により(公財)全国高等学校体育連盟定時制通信制部の承認を経て部長がこれを委嘱する。委員長は本部を代表し会務を統括する。副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故ある時はその職務を代行する。
- 第8条 委員は各都道府県高等学校体育連盟定時制通信制柔道部またはこれに代わる団体より各1名選出される。委員は各都道府県を代表し、役員会に出席してその議決権を行使することができる。
- 第9条 その他の役員の選出は委員長のそれに準ずる。
- 第10条 事務局長は本部の一般業務を処理する。事務局には必要に応じて事務局員をおくことができる。
- 第11条 会計は本部会計業務を処理し、監事はこれを監査する。
- 第12条 役員の任期は原則として2ヶ年とする。但し重任を妨げない。補欠によって就任した役員の任期は前任者の残留任期とする。

第3章 会議

- 第13条 役員会は毎年定期に開催し、当該年度の事業、予算、決算、人事その他必要事項を審議決定する。議長は委員長が行う。
- 第14条 会議は委員の過半数(委任状を含む)の出席をもって成立し、議決は出席者の過半数により可否を決する。

第4章 会計

- 第15条 本部の経費は各都道府県からの分担金その他の収入をもってこれにあてる。
- 第16条 本部の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。
- 第17条 本部の予算、決算は事務局で作成し、監査を受け、役員会の承諾を経て(公財)全国高等学校体育連盟定時制通信制部の承認を得る。

第5章 附則

- 第18条 本規約は役員会の議決によらなければ変更することができない。
- 第19条 本規約は昭和62年1月31日より効力を生ずる。
- 第20条 当分の間、(公財)全国高等学校体育連盟定時制通信制部に加入していない都道府県であっても第3条、第8条の規定に関わらず、本部に加入し委員を選出することができる。

改訂履歴

平成19年4月28日に一部改正する。

令和6年12月1日に一部改正する。

設立年月日 昭和45年4月1日

以 上

全柔連発第 21-0963 号

2021 年 12 月 7 日

加盟団体 会長 殿

全国高等学校体育連盟柔道専門部 部長 殿

日本中学校体育連盟柔道競技部 部長 殿

公益財団法人全日本柔道連盟

専務理事 中 里 壮 也



「入れ墨」をしている選手の大会等における取扱いについて（ご通知）

平素より、本連盟の諸事業に対し、ご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。

さて、本連盟では、平成28年12月20日付け文書にて「入れ墨」をしている選手（高校生以下）の大会等における取扱いについてご通知申し上げておりましたが、2021年度第6回理事会において、その取扱いの見直しについて協議し、今後は下記の通り取扱うことを決議いたしました。

つきましては、貴団体（下部団体を含む）主催の高校生以下の大会におきましても、「入れ墨」をしている選手について下記の通りお取扱い頂きますようご依頼申し上げます。

記

1. 趣旨（目的）

「入れ墨」に関しては、平成 28 年 12 月 20 日付通知において当面の取扱いを通知したところであるが、今般社会情勢の変化等に鑑みその取扱いを変更することとしたので、周知徹底を図られたい。

2. 「入れ墨」の定義

本通知にいう「入れ墨」とは、「刺青（しせい）」「タトゥー」のいずれも、彫り物（身体を傷つけることで模様を残す行為）をするという点において本質的に変わるところはないことから、「刺青」及び「タトゥー」の双方を含み、模様、大きさは問わないものとする。

3. 「入れ墨」をしている選手の取扱い

大会出場に際しては、原則として「入れ墨」をシャツ、テープ等で隠すこととする。

以上

【講道館道場使用時の注意事項】

道場及び更衣室を使用する際、以下の事項に注意すること。

1. 危険防止

- ① 落下の危険防止の為、各道場、更衣室とも、窓枠に物を絶対に置かない。置かせない。
- ② 各道場、小窓(下側)は開閉禁止。

2. 事前準備、来館時間

- ① 原則、設営準備は、使用当日に行う。申請した開場時間前に、関係者の来館がないように注意する。

3. 更衣室

- ① 貴重品は、ロッカーに保管せず、各所属団体の管理する。
- ② ゴミ等に関しては、原則、各団体の処理する。

4. 服装

- ① 館内は正装とし、白色の柔道衣を着用する。(男子は柔道衣のみ、女子は中に白無地のTシャツを着用)
- ② 常に服装を正し、廊下も含め、館内で帯を結ばずに歩いたり、柔道衣を脱がないこと。

5. その他

- ① 道場内での飲食は厳禁(水分補給は、7階エレベータ前エリア、5階、6階は廊下にて行う)
- ② 道場の入口は4階のみ。5,6,7階には4階で靴を脱ぎ、階段で上がる。エレベータ使用不可。見学者も同様。
- ③ 大道場(7階)から観覧席(8階)まで裸足で移動しないよう注意する。(4～7階は内、8階は外)
- ④ 道場の貸し出しは、道場のみであり、原則、事務室、指導員室は、使用出来ない。
- ⑤ 貼紙等は、壁に直接行わない(ホワイトボードなどを利用する)

【一般的な体育施設ではなく、講道館の道場であることを念頭にご使用ください。】

(以上、講道館道場指導部の資料から抜粋)

- ◆ 8.15 大会前日、8.16 当日、大道場7階と観覧席8階の直接の移動は、不可とする。
但し、事故等緊急の場合は可とする
- ◆ 上記 5.②の通り、4階受付を会場入り口とする。

タイム スタンプ	都 道 府 県 名	1. 試合進行につい での改善点	2. 単独参加選 手への対応	3. 前日並びに当日の引率者 への5,6階への入場制限の撤 廃に関して	4. 前日の計量並びに連 絡責任者各位練習会場の 設定について	5. 補欠選手枠 ABの撤廃	6. 宿泊手配に ついて	7. 大会プログ ラムに関して	8. 入れ墨の件に関し、従前より事前に事務局 まで連絡を頂いた上で、それを隠して対戦相手 への圧力とならないよう配慮することを 監督会 議で情報共有してきました。 しかし今回はその連絡もなく、入れ墨を隠さず に出場し、表彰式にも露出させたままのケース があり事務局としても困惑しました。 全柔連から2021.12.7と2023.7.24に発せられた 書面（別添）をご参考に、率直な意見をお願い します。	9. その他、今大会全般 を通じて（改善点、ご意 見等、、、）
8.15	金 京 都	試合数が少ないた めに選手が連戦に なってしまう。	前日練習は東京 チームの練習時 間を教えて、合 同で前日調整を 行う。	6 階までは混んでいないの で自由に入場させることに 賛成	問題なし	賛成	回答なし	試合会場図が 載っている便利	事前申請がない場合は出場を認めない旨 を通知して、発見された場合は失格にする	講道館入口で溜まるこ と、講道館ないでの柔道 着の着方は事前に通知し て各都道府県で徹底して もらう。
8.15	金 枥 木 県	①全ての引率顧問 (監督)にIDを発行 し、試合上での選 手応援、セコンド でのアドバイス実 施を可能にするべ きと思います。危 機管理上、事務局 は20年前の感覚か ら直ちにアップ デートが必要と思 いました。万が一 の大きな事故が起 きてからでは遅い と思います。ただ し当該学校の教員 以外のコーチは責 任が負えないた め、試合上への入 場は不可のままで 良いと思います。	なるべく練習相 手がいるように 安全面が確保さ れた条件で柔軟 に対応すれば良 いと思います。 (今年度の対応で 良いと思いま す。)	基本的をIDを発行したもの への入場は制限するべきで はないと思う。ただし練習 相手になるために付き添っ たコーチ(当該選手所属校の 教員以外の者)に関しては試 合上への入場は引き続き制 限して良いと思います。	今年度のままで良いと思 います。	意見なし。	高体連規定に 則って行うべ き。基本的に全 日制が実施する インターハイと 同様の手続きに する。	意見なし。	大会要項および監督会議資料に入れ墨に かかる対応について明確に記載した配布 資料(全ての顧問宛て)はあったのでし ょうか？(私の認識不足がありましたら大 変申し訳ございませんが、私は承知して おりませんでした)。もし口頭のための連 絡だった場合、それは事務局にも落ち度 はあると思います。また全柔連からの通 知がすでに発布されていたとしても全て の顧問がそれを知っているとも思えませ ん。現に柔道専門でこれまでやってきた 私も初見でした。 そうした状態で大会を実施したにもかか わらず、当該選手が所属している高校の 顧問も回答するであろうこのアンケート に「困惑」と記載するのはいかがなもの でしょうか。 私は今年度、バスケットボールの全国大 会の引率も行いましたが、バスケット ボールは事前に、明確に、そして大変分 かりやすく入れ墨や装飾品の着用につい ての注意に関する資料(カラー写真付き で例示もされていました)が配布されて いました。素人顧問の私でも分かるよう に、です。さらにバスケットボールでは オンラインにおける監督会議も実施して います。そうした事前の準備が功を奏し ているのか、大会では柔道よりも何倍も の選手が参加しているにもかかわらず、 トラブルは見受けられませんでした。 入れ墨(タトゥー)を隠して参加させるこ とは賛成ですし、全柔連が総判断してい る以上、この対応こそが正しいと思いま すが、今大会事務局が当該選手やその顧 問に一切の責任を押し付けるような論調 には強い違和感を感じます。 危機管理やトラブル防止には「雨が降る 前に傘をさす」ぐらいの準備が必要と思 います。ぜひこれまで以上に選手だけ でなく顧問教員(特に素人顧問)が安心安全 に大会へ参加できるよう、事務局が改善 することを強く願います。	決勝戦においてケアシス テムを2台起動させる件 は今年度実施されたので しょうか？

タイム スタンプ	都 道 府 県 名	1. 試合進行について の改善点	2. 単独参加選手 への対応	3. 前日並びに当日の引率者 への5,6階への入場制限の撤 廃に関して	4. 前日の計量並びに連 絡責任者各位練習会場の 設定について	5. 補欠選手枠 ABの撤廃	6. 宿泊手配に ついて	7. 大会プログ ラムに関して	8. 入れ墨の件に関し、従前より事前に事務局 まで連絡を頂いた上で、それを隠して対戦相手 への圧力とならないよう配慮することを 監督会 議で情報共有してきました。 しかし今回はその連絡もなく、入れ墨を隠さず に出場し、表彰式にも露出させたままのケース があり事務局としても困惑しました。 全柔連から2021.12.7と2023.7.24に発せられた 書面（別添）をご参考に、率直な意見を願ひ します。	9. その他、今大会全般 を通じて（改善点、ご意 見等、、、）
8.15	金 神 奈 川 県	途中、アクシデントがあったり、時間通りにいかないのは仕方ありません。女子表彰と男子開会式を同時に行ったのは、よい改善だと思います	単独参加選手であっても、前日の計量だけでなく柔道着検査を兼ねて、選手全員のチェックをしても良いのではと思います。刺青の件も、それで事前指導ができると思います。	問題ありませんでした。	問題ありませんでした。	問題ありませんでした。	利用しませんでした。	問題ありませんでした。	前日の計量＆柔道着検査を、選手全員におこない、その上で該当選手ならびに監督への指導をなさる方法もありかと思えます。 外国にルーツのある選手の場合、宗教上や文化慣習から刺青をする場合もあり、やはり刺青市のものを禁止することは難しいと考えます。 引率顧問で、選手ともども初出場となると、刺青そのものの対処を知らないこともあるかも知れません。以前、ロッカールームで「さらし」をまいたり、ファンデーションで消していた選手もありました。 具体的な対応も、大会要項に折りこむ時代になってきたのではと、感じます。	いつも東京都の先生方を中心に、大変お世話になっております。 ただただ、頭が下がる思いです。 ありがとうございます。
8.18	月 群 馬 県			会場が飽和状態になることが問題となっているので、一回戦負けの選手は速やかに退場する等の条項を付加した上で認めるのが良いかと考えます。	今年度は問題なく行えたように思いました。		学校側から宿泊費の補助金が¥13000までしか出ないため、グレードをDまで設定してもらえたのは助かりました。			
8.18	月 静 岡 県	予定よりもやや遅れている進行であった印象。男子90kg級や65kg級の試合が長引き90kg超級の試合が早く終わっていたのを見ると、空いている試合場などの活用なども考えられるが、大会本部の負担増加や観客の混乱を招く可能性もある。	特に問題なし。	特に問題なし、非常に良いと考える。	特に問題なし。	特に問題なし。	宿泊手配については問題なかったが、宿泊先の立地については改善していただきたい。 「東横INN池袋北口2」に宿泊したが、歓楽街の中にあつたため教育上あまりよくないのではないかと、また防犯上でも懸念されるように感じた。	特に問題なし。	近年、外国籍の生徒が増加しており、特に外国籍の生徒にとっては入れ墨はファッションとして当たり前の生徒が増えてきた。そのため、公平な観点での判断が必要かと思われる。また、入れ墨に関しては自身も確認が不足しており、他の都道府県での状況はどうかになります。	女子選手をはじめ長髪の選手は髪を後ろで縛るのをお願いしていたが、後ろ襟に髪がかかり、相手が不利となる可能性があり、長髪は髪を団子にまとめるようお願いしたほうがよいかと思います。

タイム スタンプ	都 道 府 県 名	1. 試合進行について の改善点	2. 単独参加選手 への対応	3. 前日並びに当日の引率者 への5,6階への入場制限の撤 廃に関して	4. 前日の計量並びに連 絡責任者各位練習会場の 設定について	5. 補欠選手枠 ABの撤廃	6. 宿泊手配に ついて	7. 大会プログ ラムに関して	8. 入れ墨の件に関し、従前より事前に事務局 まで連絡を頂いた上で、それを隠して対戦相手 への圧力とならないよう配慮することを 監督会 議で情報共有してきました。 しかし今回はその連絡もなく、入れ墨を隠さず に出場し、表彰式にも露出させたままのケース があり事務局としても困惑しました。 全柔連から2021.12.7と2023.7.24に発せられた 書面（別添）をご参考に、率直な意見を願ひ します。	9. その他、今大会全般 を通じて（改善点、ご意 見等、）
8.19 火	奈良 県	スムーズでよかったが団体戦と個人戦の間に15分程度開けてほしい。団体戦終わってすぐに個人戦がはじまりテーピングの巻き直し、水分補給がでなかった。	特になし	撤廃してもよい	特に問題はありません	このままでもよい	Aはさすがに高いのでB以下でよねがいがいたが、人数が多いことからAランクのホテルになった。遠方の選手の負担が大きいのと思う。近隣の県は幹旋ホテルに泊まってるのでしょうか。参加人数を増やすために検討が必要と思う。	特になし	事前に連絡や隠す努力がなければ失格とすべき。入れ墨を認めるとなんでもありになりかねない。今のルールでは違反である。	先生方、お忙しい中運営ありがとうございます。
8.19 火	北海道	諸事情があるかとは思いますが時間通りの運営をお願いします。		必要最低限の入場でよいと思います。（事故防止の観点から）	良いと思います。		良いです			リザルトですが、勝敗に加えて、何の判定で勝敗となったのか、わかりやすい案内を希望します。また、試合会場にて、リザルトを大画面表示するなど、試合進行をわかりやすくできる工夫があるとうよいかと思います。
8.20 水	愛媛 県	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	他校の指導者の方のご意見を参考にした上で、個人的には入れ墨が見える状態での競技出場は遠慮していただきたいと思います。	今大会について、大会直前に台風の接近で移動を含めた大会出場を心配しましたが、無事大会を終えることができて、生徒にも良い経験となりました。生徒自身も来年の全国大会に向け練習に励んでおりますので、次年度の大会運営をよろしくお願いいたします。本当にありがとうございました。

タイム スタンプ	都 道 府 県 名	1. 試合進行につい での改善点	2. 単独参加選 手への対応	3. 前日並びに当日の引率者 への5,6階への入場制限の撤 廃に関して	4. 前日の計量並びに連 絡責任者各位練習会場の 設定について	5. 補欠選手枠 ABの撤廃	6. 宿泊手配に ついて	7. 大会プログ ラムに関して	8. 入れ墨の件に関し、従前より事前に事務局 まで連絡を頂いた上で、それを隠して対戦相手 への圧力とならないよう配慮することを 監督会 議で情報共有してきました。 しかし今回はその連絡もなく、入れ墨を隠さず に出場し、表彰式にも露出させたままのケース があり事務局としても困惑しました。 全柔連から2021.12.7と2023.7.24に発せられた 書面（別添）をご参考に、率直な意見を願ひ します。	9. その他、今大会全般 を通じて（改善点、ご意 見等、）
8.25 月	茨 城	今年度は予定より 進行が遅くなりました。 それは女子 の団体戦と個人戦 の試合の状況によ るのではないと思 います。逆に令和 5年度と6年度は 進行が早まって男 子個人戦が予定よ り早く始まってし まい、生徒の関係 者が応援に間に合 わなかった高校も ありました。予定 よりも早くなるこ とは避けて欲しい と思います。	特に意見は出ま せんでした。	特に混み合うこともなかつ たので入場制限はない方が 良いかと思います。	特に意見は出ませんでし た。	多くの選手の参 加機会が増える ので良かったと 思います。	問題なくスム ーズに行えまし た。今後も、最 寄り駅（後楽園 駅・春日駅・水 道橋駅）から乗 り換えなしで行 くことが可能な 駅の近くのホテ ルを選定してい ただければ幸い です。	今大会はかなり 時間が遅れたの で、原因を精査 して次年度に生 かしていただい たらと思いま す。	隠し方の具体的な方法を記載して欲しい です。また、大会前日の監督会議にて確 認事項として話し合ってもよいかと思 います。	個人戦の際に監督者以外 （引率教員など）大道場 に入れる人数を増やして 欲しいです。本県は個人 戦のみの出場で出場校が 2校（どちらも男子）で した。その場合1校の教 員は個人戦の監督として 登録できる（大道場に入 れる）のですが、もう1 校の教員は監督になれな いので大道場に入れませ んでした。教員は各校1 名大道場に入れる（試合 が終わったら速やかに退 場する）としてくれると 幸いです。
8.25 月	宮 城 県	コロナ明けで男女 の開・閉会式を同 時にするなど元 に戻し最終時刻を なるべく早くしてほ しい	とくにございま せん	とくにございません	指定席予約の都合なるべ く早い段階でタイムテ ーブルをしめしていただき たい	とくにございま せん	とくにございま せん	とくにございま せん	入れ墨は講道館で行う以上、事前指導を 徹底することが大切だと思います。どこ も大変かと思いますが、社会に出る前に 大切な指導のチャンスと思います。	いつも大変お世話になっ ております。事務局の先 生方はじめスタッフの 方々のおかげで続けられ ています。感謝を申し上げ るとともに、今後この 大会が続いていくことを 願います。

タイム スタンプ	都 道 府 県 名	1. 試合進行につい での改善点	2. 単独参加選 手への対応	3. 前日並びに当日の引率者 への5,6階への入場制限の撤 廃に関して	4. 前日の計量並びに連 絡責任者各位練習会場の 設定について	5. 補欠選手枠 ABの撤廃	6. 宿泊手配に ついて	7. 大会プログ ラムに関して	8. 入れ墨の件に関し、従前より事前に事務局 まで連絡を頂いた上で、それを隠して対戦相手 への圧力とならないよう配慮することを 監督会 議で情報共有してきました。 しかし今回はその連絡もなく、入れ墨を隠さず に出場し、表彰式にも露出させたままのケース があり事務局としても困惑しました。 全柔連から2021.12.7と2023.7.24に発せられた 書面（別添）をご参考に、率直な意見をお願い します。	9. その他、今大会全般 を通じて（改善点、ご意 見等、）	
9.1 月	大 分	①開会式や試合進 行は男女一緒にい いかと思います。 ②引率の先生が近 くにいないという 状況下で試合を行 う事には大変危険 を感じます。事務 局の先生の中で 「通信制なので」 という言葉を使わ れる方がいます が、ここの部分は 「通信制だからこ そ」という視点で 考えていただきたい と思います。他 校の教員ではわか らない生徒の特性 もあります。各校 の先生が自校の生 徒をしっかり管理 できる状況下で試 合をさせてあげて ほしいと思いま す。③試合前の入 場等に関しては、 1Fにいる役員と4F にいる役員で理解 が違っていたよう で入場前は1Fで大 変混雑がありまし た。		関係者の入場は試合場、5 ・ 6階ともに入場可でよい のではないのでしょうか？関 東大会やインハイ予選など との比較もしていただけれ ばと思います。	良いと思います。			事前に連絡をし ていたにもかかわらず、同じ県 なのに別の宿泊 先だった為移動 が大変でした。		前日計量の際や試合前の柔道着コント ロールと一緒に審判団が確認をするべき ではないでしょうか。ゼッケンも県に よって違っていました(学校名のまま) 県名の記載と要綱にはありますので順守 させるべきかと思います。また、選手の 髪(長い髪は相手の迷惑にならないよう に束ねなければならない)についても全 体に指導していただきたいです。	もう少し盛大にできれば とも思います。ほかの競 技では物販や写真販売も あるようですので柔道競 技ももう少し盛り上げて いた抱きたく思います。 このようなアンケートで 出た意見を全体にも共有 していただけるとありが たいです。

柔道大会 R8 年度連絡責任者 変更通知

新規連絡責任者メールアドレスの登録

R7 年度から R8 年度にかけて、連絡責任者にメールアドレスも含め、変更があった場合は、速やかに柔道大会事務局まで、メールにてご連絡ください。

メールでご連絡いただく際、旧連絡責任者から新規連絡責任者のアドレスを CC に入れて送信をお願いします。

【発信は旧連絡責任者】

To: 大会事務局アドレス tjudojp@gmail.com

CC: 新規連絡責任者のアドレス

件名: 連絡責任者の変更 都道府県名

メール本文: 新規連絡責任者の氏名、勤務校を明記

CC に新規連絡責任者のアドレスを入れことで、登録ミスリスクが減ります。

なおかつ、新旧の連絡責任者との引継ぎ、大会事務局からの情報共有も確実となります。

以上の点にご留意頂き、大会運営へのご理解ご協力をお願いします。

柔道専門部代表者会議【1.31 土曜日、1645 開始】

当日出欠確認用 QR コード

未入力の場合は、以下の QR コードから入力をお願いします。

